

「道路を造る量は減る！」

とはっきり言える潔さ



● 1月30日 伊勢原で連舩議員を招いた講演会を開催

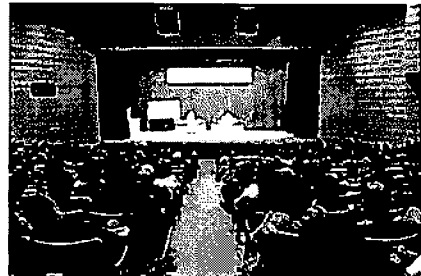
伊勢原市民文化会館小ホールに約400の方がお越し頂き、満員・立見になりました。医療、年金、ガソリン税問題などについて連舩議員からの基調講演の後、ごとう祐一との対談を行いました。

連舩議員「ガソリンの暫定税率が下がっても、国の直轄事業の地方負担分をなくすなどで、地方にとっては減収にはならない」

ごとう 「むしろ、民主党に求められているのは道路を造る量が減ることをはっきり言うことでは」

連舩議員「道路かガソリン値下げかと、そんな単純なものではない。政治は複雑なもの」

といった本音ベースの激しいやりとりもありました。



● 2月11日 旧津久井郡で藤井裕久税調会長と浅尾慶一郎ネクスト防衛大臣を招いた講演会



旧津久井郡、愛川町を中心とした約200名の方で満席・立見となりました。

浅尾ネクスト防衛大臣からは、「現在の防衛予算がいかに無駄な使い方がされており、民主党なら米国との事実に基づく冷静な議論によりこれを改善していける」といった話を頂きました。



藤井税調会長からは、「道路特定財源を維持すべしとの陳情を、全国のほとんどの市町村長が国土交通省から言われて脅されてやらされている。地方自立のためにも、54年も続く道路特定財源を廃止しなくてはならない」 (裏面へつづく)



といったお話をいただきました。

ごとう祐一からは、「さがみ縦貫道は必要だとしても、① さらに津久井を横断する高速道路まで必要か、② それともガソリン税を下げた方がいいか」と会場の皆様に聞いたところ、①が数名、②が圧倒的多数でした。

旧津久井郡の私の支援者には、道路建設にかかわる方々も当然います。地元の具体的な道路計画を念頭に、道路とガソリン税引下げの関係を質問するのは勇気が要ります。

しかし、今民主党に求められているのは、こういった勇気、潔さなのではないでしょうか。「こんなことを言うと支援者が応援してくれなくなってしまうのでは」と気にして野党がはっきりモノを言わないのであれば、しがらみに囚われる与党と同じです。また、「無駄遣いをなくします」といった当たり障りのないことを言っているだけでは国民の心は動かないと思います。

無難に当たり障りのないことを言うのではなく、一部の方に嫌われても「できないことはできない」とはっきり言う勇気、潔さを買ってほしいと思います。

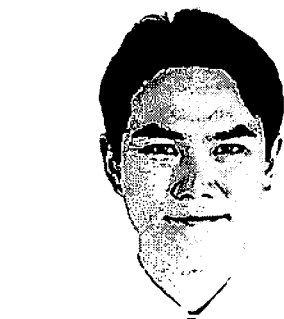
ご協力をお願い

現在、ごとう祐一の活動は皆様の寄附、ご協力によって支えられています。ご協力いただける方は、事務所までご連絡いただくか、お名前とご連絡先をご記入の上、下記番号に FAX をお送りくださいますと幸いです。よろしく願いいたします。(TEL 046-296-2411 FAX 046-296-4811)

- ごとう祐一通信を近所に配れます(部程度)
- ごとう祐一を囲んだミニ集会を開きます
- 事務所で封詰めなどの簡単な作業が手伝えます
- 知人・友人・家族を紹介できます
- ポスターの掲示場所を提供できます
- ごとう祐一へのカンパができます

お名前

電話番号



CVN 藤井 隆平

昭和 44 年 横浜生まれ
 昭和 59 年 相模原市立上鶴岡中学校卒業
 昭和 62 年 神奈川県立厚木高校卒業
 平成 4 年 東京大学法学部卒業後、通商産業省入省 (現経済産業省)

平成 10 年 スタンフォード大学客員研究員
 平成 11 年 カナダ政府外務貿易省勤務 (FTA 担当)
 平成 17 年 13 年開始めた経済産業省を退職
 平成 18 年 衆議院補欠選挙で惜敗 (80,450 票対 109,464 票)

現在 妻、息子、娘の 4 人家族。
 厚木市池町在住、38 歳。

ごとう祐一事務所

〒243-0017
 厚木市栄町2-4-28-212
 046-296-2411 TEL
 046-296-4811 FAX



来てね

